



## あなたにもわたしにもTraumインフォームドケア



こころのケガに配慮するケアは、

今は「Traumインフォームドケア」という言葉でまとめられていますが、  
皆さんがこれまでに実施/経験されていることも多く含まれています。

- ① これまでに、あなた自身が行ったものや体験したこと、同僚が行っていたものなど、「あれは、こころのケガに配慮したケアだったかも」と考えられるものはありますでしょうか。なんでも書き出してみてください。(ガイダンス10、11、13章の実践例も参考になるかと思います) また、その時は難しかったけど本当はこうしたかったな、と思い起こされるものも書き出してみてください。何気なく行っていたケアの意味を深め、そのケアをチームで増やすことにつながります。

それらのケアには、それぞれ「6つの主要原則」↓のどのあたりが関連していそうでしょうか？

(複数当てはまることもあると思います)

- (1) 安全 (物理的・身体的・精神的な安全、患者さんだけでなく、スタッフの安全も含みます)
- (2) 信頼性と透明性 (患者さんと/スタッフ間で情報の格差が少ない、など)
- (3) ピアサポート (患者さん間/スタッフ間、色々な形のピア(仲間)があります)
- (4) 協働と相互性 (お互いを尊重し、力を合わせ、補いあう、など)
- (5) エンパワメント(対象者の力を引き出す)、意見表明と選択 (言語以外の表現もあり)
- (6) 文化、歴史、ジェンダーに関する問題 (様々な背景や価値観への配慮など)

- ② ①に挙げていただいた中で、同僚やチームと共有しても良いと思うもの/共有したもののメモ欄

加えられそうな実践、やってみたいけど難しい点などについて話してみるのも役に立つかもしれません。



左のQRコードを読み取っていただくと、お問い合わせページへつながります。ご意見、ご感想もお待ちしております。



☆お疲れ様でした☆